

令和5年4月末現在における安全運転管理者選任事業所の交通事故発生状況（千葉県内）

- 1 本資料は、安全運転管理者選任事業所、又は運転代行業（以下「安管事業所」といいます。）の従業員が千葉県内において業務中又は通勤中に起こした人身事故を分析したものです。物件事故（人の死傷を伴わない事故）の数値は含まれていません。
- 2 本資料には、他県の安管事業所の従業員が千葉県内で起こした事故の数値が含まれていますが、本県の安管事業所の従業員が他県で起こした事故の数値は含まれていません。

1 安全運転管理者等選任事業所の交通死亡事故の概要（千葉県内）

番号	発生日時	場 所	路線名	第 1 当事者	第 2 当事者	通行目的
1	1月12日（木） 20:06	佐倉市 木野子	市道	電機・ガス業50歳代（男） 普乗	50歳代（女） 歩行者【死亡】	業務
2	1月25日（水） 7:20	四街道市 鹿放ヶ丘	市道	建設業70歳代（男） 普乗【死亡】	単独死亡事故	業務
3	1月29日（日） 8:12	匝瑳市 山崎	市道	卸売・小売業20歳代（男） 普乗	50歳代（男） 軽乗【死亡】	業務
4	2月23日（月） 9:55	旭市 西足洗	市道	建設業30歳代（男） 大貨	40歳代（男） 歩行者【死亡】	業務
5	2月16日（木） 20:46	市川市 香取	市道	運送・郵便業40歳代（男） 軽二輪【死亡】	単独死亡事故	業務
6	3月4日（土） 13:35	いすみ市 日在	駐車場	卸売・小売業60歳代（男） 中貨	80歳代（女） 歩行者【死亡】	業務
7	3月6日（月） 14:48	八千代市 ゆりのき台	市道	卸売・小売業60歳代（男） 普貨	80歳代（女） 歩行者【死亡】	業務
8	3月22日（水） 13:46	市川市 田尻	高速道	サービス業30歳代（男） 中貨【死亡】	50歳代（男） 準中貨	業務

令和5年4月末現在における死亡事故の主な特徴は次のとおりです。

(1) 死亡事故がハイペースで増加しています。

令和4年中に発生した交通死亡事故は11件、死者11人で令和3年と同数でしたが、本年は4月末現在で8件、死者8人（前年同期比+5人）となっており、著しい増加傾向にあります。

(2) 第一当事者が死亡した事故が3件（令和4年中4件）とこれも増加傾向にあります。

(3) 8件の死亡事故全てが業務運転中に発生しており、業務運転中の死亡事故に関しては、すでに昨年より多くなっています。（令和4年中は11件中4件が業務中）

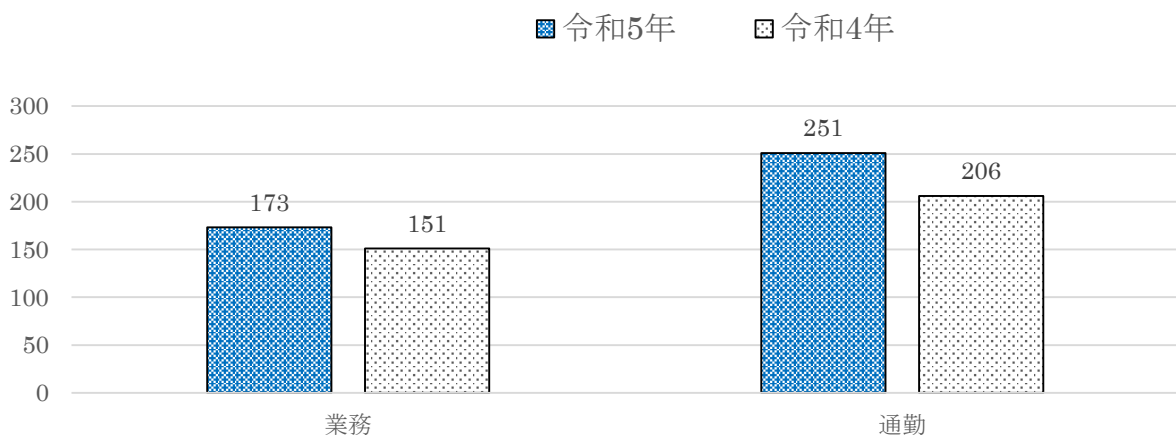
2 安全運転管理者等選任事業所の交通事故発生状況（千葉県内）

		4月中				累 計			
		令和4年	令和3年	増減数	増減率	令和4年	令和3年	増減数	増減率
発生件数		92	95	-3	-3.2	424	357	67	18.8
昼	日の出1時間後	4	2	2	100.0	21	24	-3	-12.5
	その他昼	64	61	3	4.9	250	188	62	33.0
	日の入1時間前	9	9	0	0.0	27	23	4	17.4
	昼計	77	72	5	6.9	298	235	63	26.8
夜	日の入1時間後	9	10	-1	-10.0	32	48	-16	-33.3
	その他夜	6	11	-5	-45.5	76	66	10	15.2
	日の出1時間前	0	2	-2	-100.0	18	8	10	125.0
	夜計	15	23	-8	-34.8	126	122	4	3.3
死者数		0	0	0	0.0	8	3	5	166.7
負傷者数		122	107	15	14.0	504	420	84	20.0
重傷者数		6	9	-3	-33.3	47	35	12	34.3
軽傷者数		116	98	18	18.4	457	385	72	18.7

令和4年4月末現在における安管選任事業所従業員に係る交通事故は、昨年同期に比べ発生件数が+18.8%、死者数が+166.7%、負傷者数が+20.0%と増加しています。

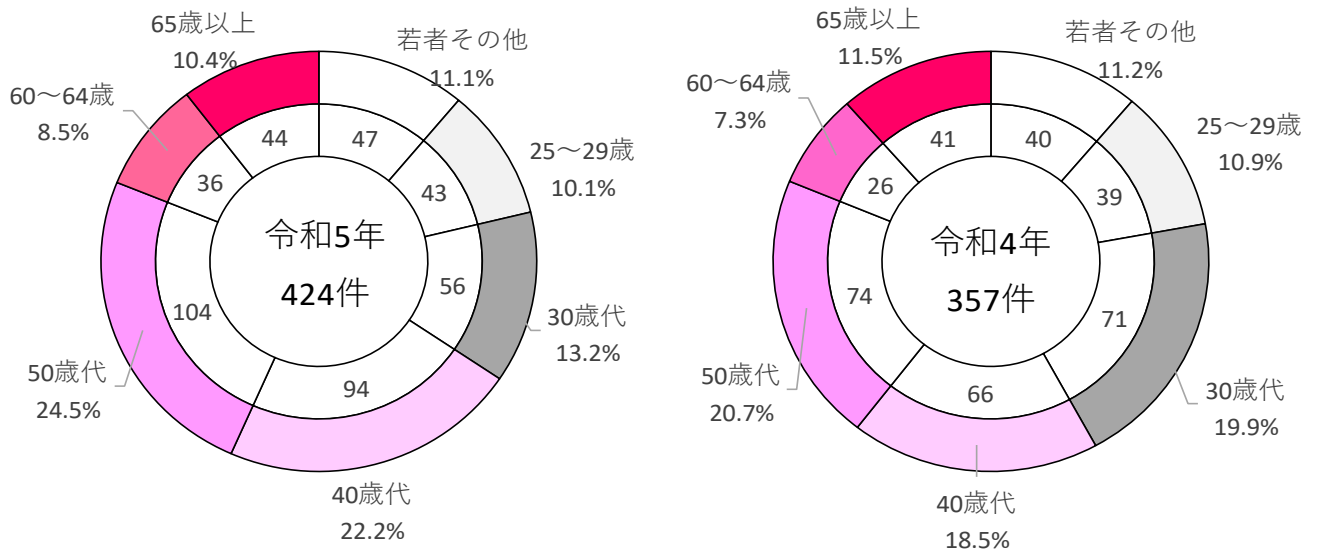
3 第1当事者の運行目的別発生状況

(人)



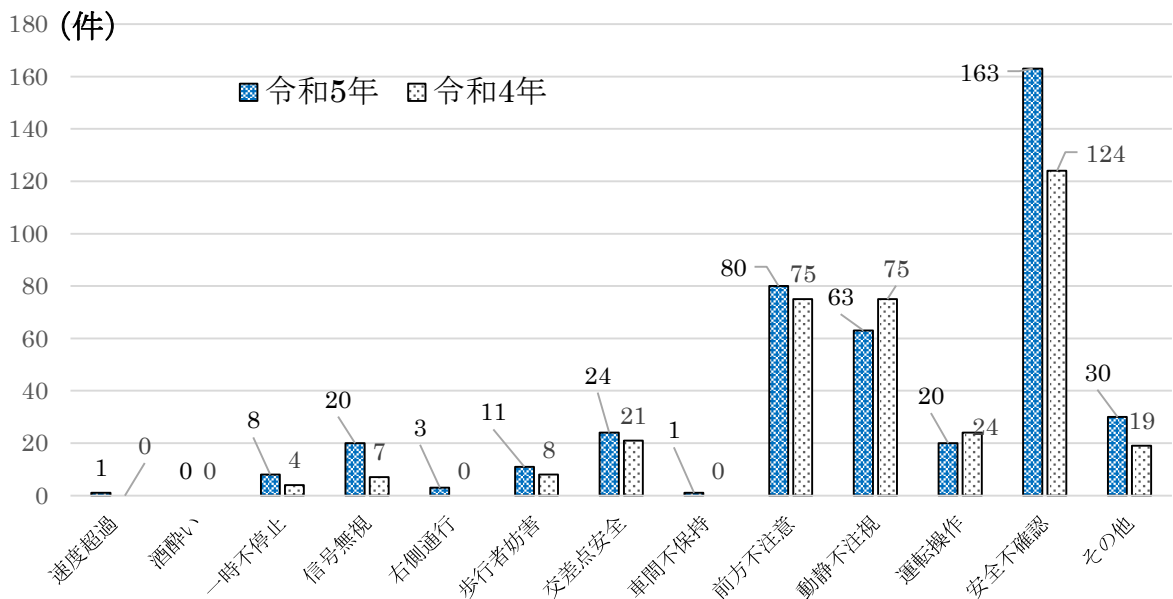
運行目的別では業務中より通勤中の事故が多くなっています。マイカー通勤の交通事故であっても、民法上の「使用者責任」により、雇用主等が賠償責任を負うことがあります。通勤中の安全運転管理にも取り組んでください。

4 第1当事者の年齢層別発生状況



昨年に比べ30歳代の比率が減少し、40歳代と50歳代の比率が増加しています。

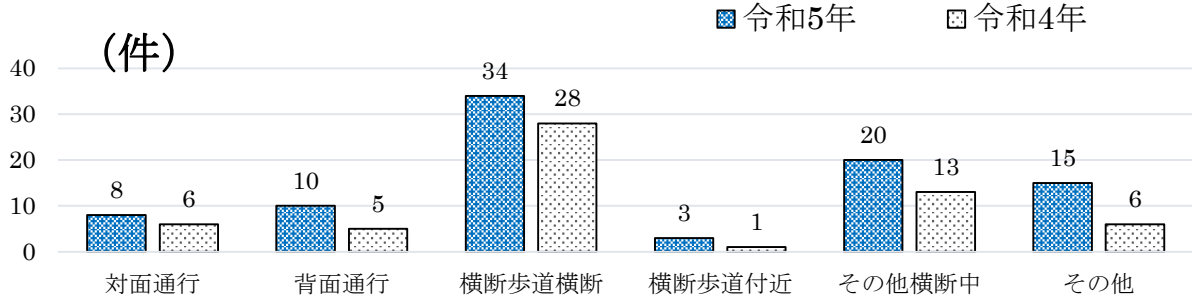
5 第1当事者の違反・原因別発生状況



事故原因は、前方不注意、動静不注意、運転操作不適、安全不確認などの安全運転義務違反が計326件で事故原因の76.9%を占めています。①交差点や横断歩道付近では確実に前方、後方、左右の安全確認を行う。②運転中は運転に集中して考え事や脇見をしない。という安全運転の基本を徹底してください。また、速度超過を直接の原因とする事故は1件ですが、衝突時の速度が高ければ当然、重大事故につながりやすくなりますので、速度の管理にも取り組んでください。

6 事故類型別発生状況

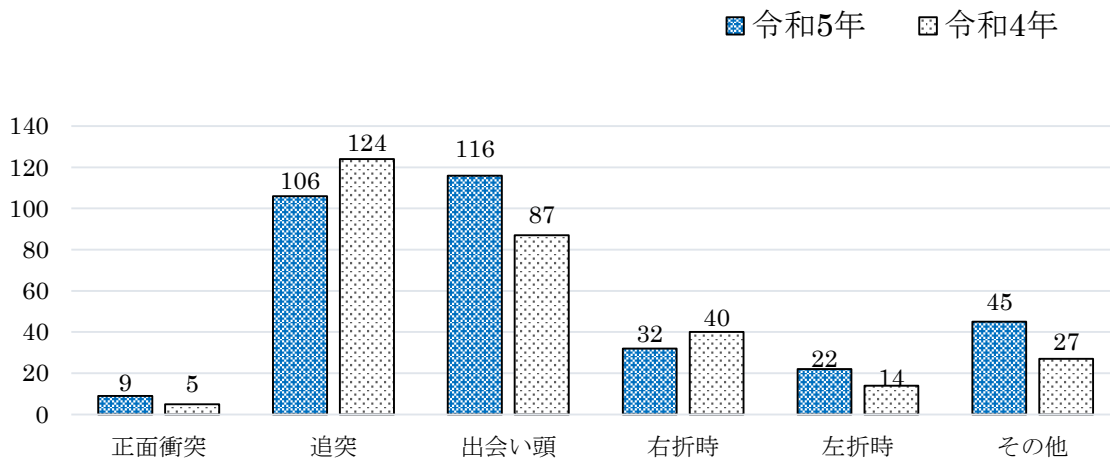
(1) 人対車両 (計 90 件)



横断歩道横断中の歩行者は最も保護されるべき交通パートナーですが、人対車両事故 90 件中、横断歩道横断中の事故が 34 件（前年比+6 件）と最も多くなっています。右折または左折して横断歩道を通る際には歩行者を見落としやすいので注意してください。

(2) 車両相互 (計 330 件)

(件)



最も多い事故形態は出会い頭（116 件、全事故の 27.7%、前年比+29 件）でした。その結果、昨年まで最も多かった追突（106 件、同 25.0%、同-18 件）を上回る結果となり、本年の特徴となっています。

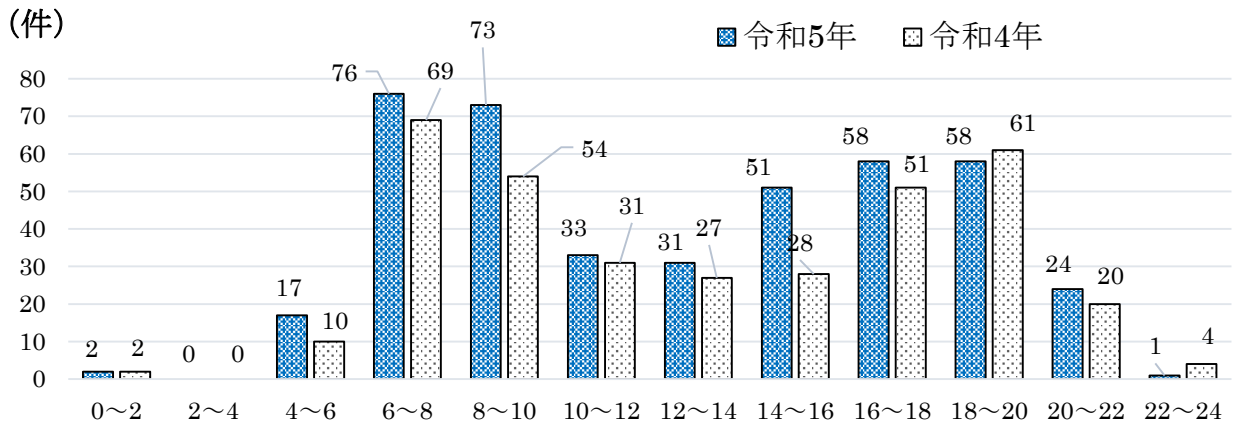
(3) 車両単独 (4 件)

(件)



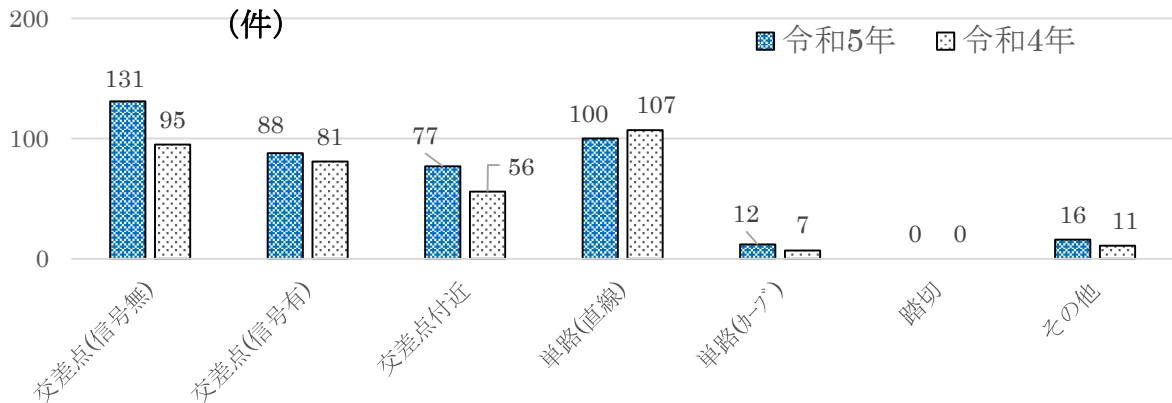
単独事故は 4 件（前年比+3 件）で内 2 件が死亡事故です。

7 時間帯別発生状況



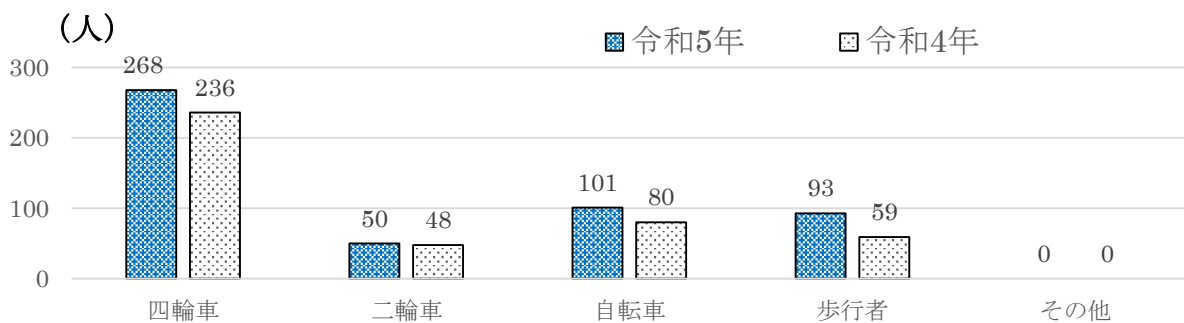
時間帯別で最も多かったのは、6時から8時までの時間帯に76件（全事故の17.9%、前年比+7件）でした。また、6時から10時までの時間帯に149件（同35.1%）、16時から20時までの時間帯に116件、（同27.4%）の事故が発生しており、朝夕の通勤時間帯の事故が多くなっています。

8 道路形状別発生状況



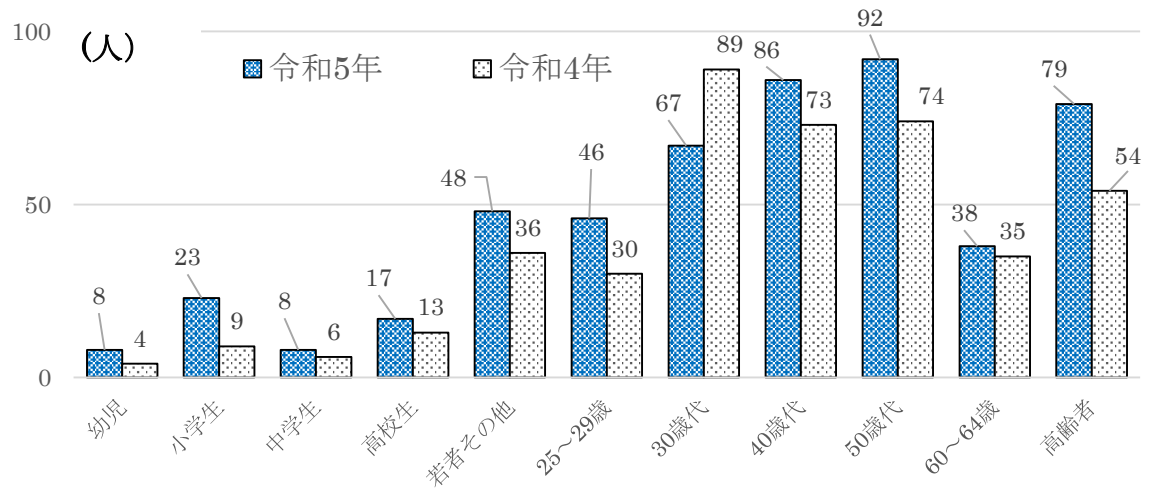
道路形状別では、交差点及び交差点付近の事故が合わせて296件（全事故の69.8%、前年比+64件）で、事故の7割近くが交差点及び交差点付近で発生しています。交差点及び交差点付近の事故が増加している要因の一つとして、6の（2）で触れた出会い頭事故の増加が影響していると考えられます。

9 死傷者の状態別発生状況



四輪車乗車中が最も多く268人（52.3%、前年比+32人）、次いで自転車の101人（19.7%、同+21人）でした。3位の歩行者は93人（18.2%、同+34人）と増加が目立ちます。

10 死傷者の年齢層別発生状況



死傷者が最も多いのは50歳代の92人（18.0%、前年比+18人）であり、次に40歳代の86人（16.8%、同+13人）でした。3位の高齢者は79人（15.4%、同+25人）ですが、増加率が著しく、今後の情勢を注視する必要があります。